

仲間づくり教養コース ②国際社会学

アメリカトランプ号出航一年、その政策を読み解く

第6回 トランプ政権の外交③

中南米政策～勢力圏主義は変わったか

日時 2月17日(土) 10:00 a m～

場所 鶴瀬公民館 第三集会室

講師 田中 靖宏 氏 (A.A.A.連帯委員会代表理事)

受講生 40名

＜アメリカトランプ号出航一年、その政策を読み解く＞と題して開講した第40期の国際社会学講座も、最終回を迎えました。

田中講師から＜トランプ政権の中南米政策＞について、そのポイントを講義頂いた。

講義の前段で、現在開催中の平昌オリンピック中に、北朝鮮が韓国に対し頬笑み外交を行っている背景。北朝鮮に対する9度の国連制裁決議がなされたのにも拘わらず、その制裁を忠実に実行しているのは、国交のある162カ国中、僅か20ヶ国のみであること。

「北朝鮮は政治的にも、経済的にも決して孤立していないことを認識した上で、今後の対応について、判断しなければいけません」と結び、本日の本題に入られた。

ティラーソン国務長官の講演「米国の西半球への関与」

ティラーソン米国務長官は2018年2月1日、米州5カ国歴訪に先立ち、米テキサス州で講演。米国の関与の3本柱「経済成長、安全、民主的統治」について詳しく語り、その後、参加者からの質問に答えた。

- モンロー・ドクトリンは今日も重要～明らかに成功してきた。当時、重要なコミットメントだったし、年月を経ても我々の関係の枠組みであり続けている。当時と同様、今日も重要だ。
- 中国モデルは西半球には不要だ～中国はラテンアメリカで足場を固めている。経済的な政治手腕を用いて地域を中国の軌道に引きずりこもうとしている。
ラテンアメリカには、新たな帝国主義は不要だ。中国の発展モデルは過去を連想させる。西半球の未来であってはならない。

ベネズエラ政府は、西半球の規範に合致しない

○マドゥーロ体制は、偽りの夢と時代遅れのビジョンにしがみついて国民を失望させている。この体制は、西半球の規範に合致しない。

我々は自由でオープンな民主的選挙をさせるため体制に圧力をかけ続ける。

米国は、体制を支える40人以上に制裁を科している。

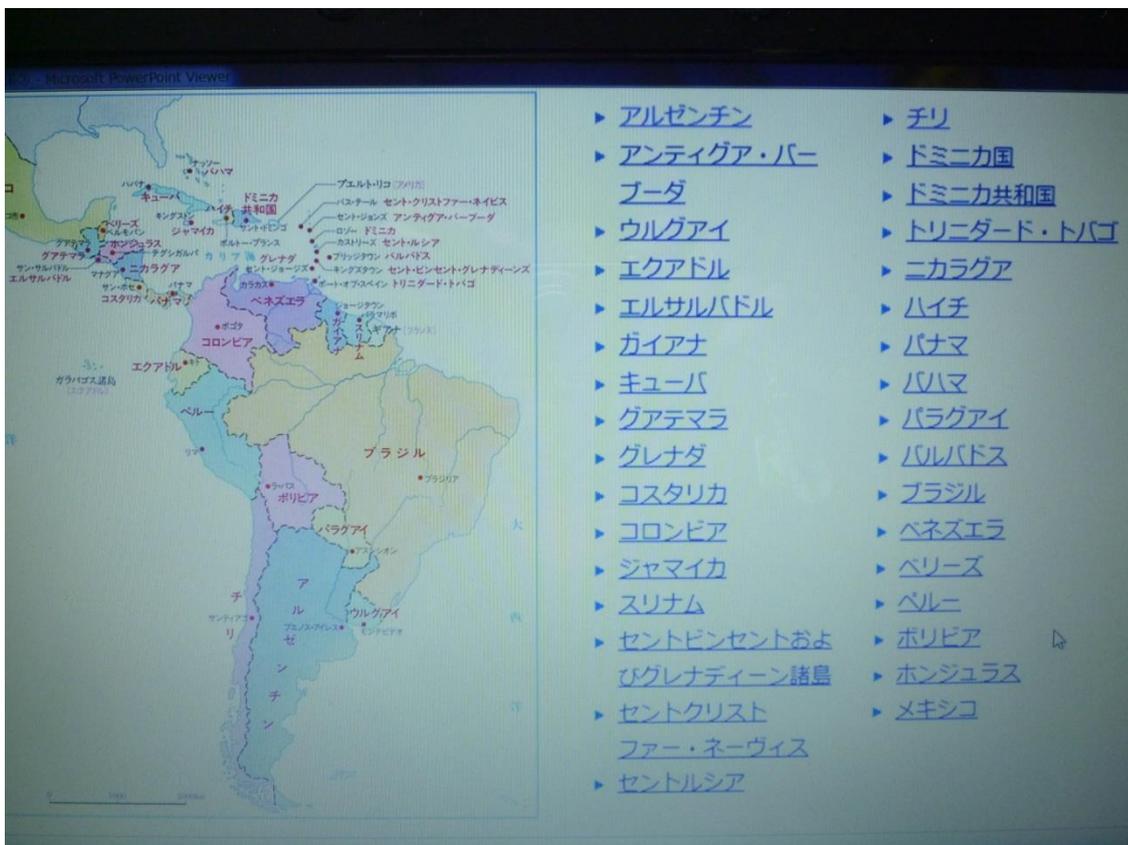
不正が指摘されるホンジュラスとは別だ

- 11月26日のホンジュラス大統領選挙では、第一次の選管発表で野党候補が優位になると突然開票が遅れ、20日後に与党勝利となった。野党は抗議し、やり直しを求めている
 - OASはホンジュラスの選挙について不正を指摘し、再選挙を要求しているのに、米国は承認した。OASとは全ての国に民主的な基準が尊重されるよう協力していくのか。
- ～ティラーソン氏

ホンジュラスの場合は、他の組織が公正に行われて合法だと判断している。なぜOASが最初と違った結論になったか、OASに聞いてほしい。ホンジュラスとベネズエラを比較することはできない。

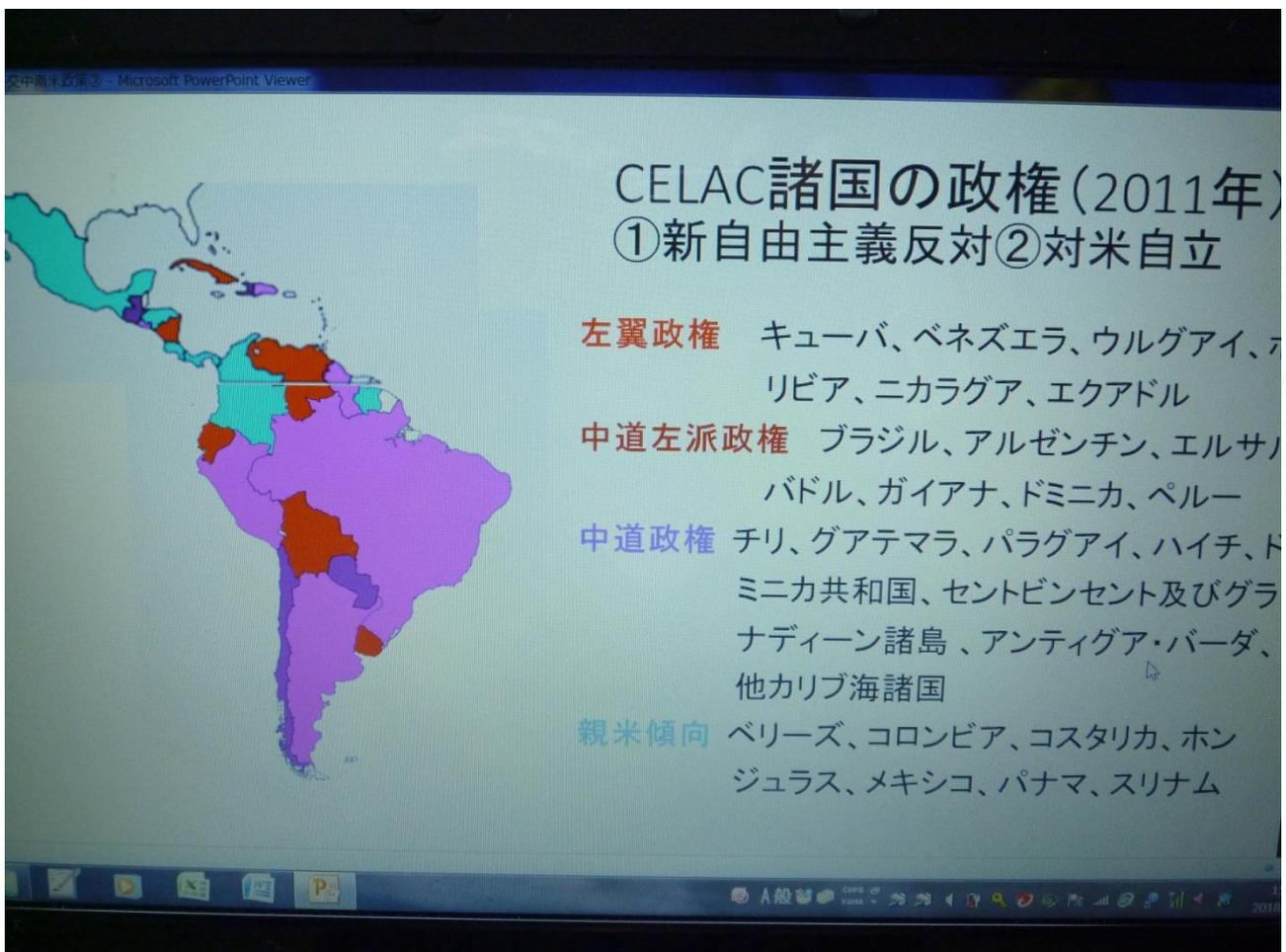
アメリカの中米カリブへの主な軍事介入

- パナマ⇒1908年、12年、18年、1918～20年、1989年
- ホンジュラス⇒1905年、07年、11年、12年、17年
- キューバ⇒1906～09年、12年、17～22年
- ニカラグア⇒1909年、12～25年、1926～33年
- ハイチ⇒1914年、15～34年
- ドミニカ共和国⇒1905年、1906年～24年
- メキシコ⇒1904年
- グアテマラ⇒1954年
- ドミニカ共和国⇒1965年
- グレナダ⇒1983年



新自由主義からの転換と米支配からの自立

- 1998 年⇒ベネズエラのチャベス政権
- 2003 年⇒ブラジルのルーラ政権
 - アルゼンチンのキルチネル政権
- 2004 年⇒ウルグアイの拡大戦線のバスケス政権
- 2005 年⇒ボリビアのエボ・モラーレス営業政権
 - ホンジュラスのマヌエル・セラヤ政権
- 2006 年⇒ガイアナの人民進歩党のジャグデオ政権
 - ニカラグアのサンディニスタ民族解放戦線のオルテガ政権
 - エクアドルの祖国同盟のコレア政権
- 2008 年⇒パラグアイの変革のための祖国同盟のフェルナンド・ルーゴ政権
- 2009 年⇒エルサルバドルのF S L M支持のマウリシオ・フネス政権
- 2011 年⇒ペルーのペルー国民主義大同盟オジャンタ・ウマール政権



軍事同盟（リオ条約）からの脱退

- 1981 年⇒フォークランド戦争での米国の英国支持<機能不全に>
- 2002 年⇒メキシコがリオ条約から脱退を通告<ブッシュ政権のイラク侵攻に懸念>

- 2004年⇒ALBA（米州ボリバル同盟）の結成
- 2012年⇒エクアドル、ニカラグア、ベネズエラ、ボリビアが脱退表明

キューバが54年振りの国交回復

- 1992年以來⇒国連総会が毎年、米のキューバ封鎖解除要求決議
- 2001年以來毎年⇒ALBA、UNASURによる米のキューバ制裁解除の要求決議
- 2009年⇒米州機構（OAS）総会で、1961年のキューバ除名決議の無効決議
- 2012年⇒米州首脳会議、ALBA諸国が、キューバを招かずば欠席と表明
- 2014年10月28日⇒第69回国連総会で、米のキューバ封鎖解除要求決議案を採択
賛成 188カ国
反対 2カ国（米国、イスラエル）
12月17日⇒米とキューバが国交正常化交渉の開始を発表
- 2015年 4月10日⇒パナマでの米州首脳会議にキューバが初参加
4月11日⇒パナマでオバマ米カストロ玖首脳会談
5月29日⇒キューバをテロ支援国家リストから削除
7月 1日⇒国交正常化を発表



<トランプ政権のアジア政策と中南米政策を、判り易く講義される田中講師>

